

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 上尾教室

保護者等数(児童数) 30名

回収数 27件(割合90%)

		チェック項目	はい どちらとも いえ いいえ わからない				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	0	0	1	部屋での活動には十分と思います。	グループを分けての活動などで十分なスペースがとれるようこれからも工夫をしていきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1	0	1	いつも複数の先生方がいらっしゃるイメージです	ご利用者様が安全に活動が行えるようこれからも配置をしていきたいと思っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1	0	5	お弁当置き場や水筒置き場、施設内の張り紙等を拝見すると、子供に非常にわかりやすく配慮された施設作りをされていると感じています。	モニタリングなどの際に実際に生活空間を見学していただけるように周知していきたいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	2	手洗い場も室内のわかりやすいところにあり、食品を扱うプログラムでは都度ビニール手袋、マスクを着用するなど、衛生面にとっても配慮されていると感じます。	これからも物品の消毒など徹底していきたいと思っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	0	0	苦手なことを理解してのばしてくれるような支援内容だと思います。	研修などで研鑽し、より専門的な知識を取り入れていきたいと思っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	1	合っていると思います。	やむない事情で変更する場合は、事前に該当の保護者様にご連絡させていただくよう努めています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	2	0	0	丁寧にモニタリングしてくれて適切な内容だと思います。	これからも細心の聞き取りと分析をこころがけていきたいと思っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	2	0	2	具体的な支援と取り組みがわかりやすいので、安心しています。	これからも研修などで研鑽し、適切な支援が設定できるようにしていきたいと思っています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	0	目標にアプローチした支援をしていると感じています。	職員が支援計画に沿うことを意識しながら支援していけるよう月に1回以上のミーティングを行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1	0	0	いろいろなプログラムがあり、楽しく通っています。	プログラムを通して季節を感じたり、社会のルールを学んだり様々な経験ができるよう心がけていきたいと思っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	6	7	これからあるといいなと思います。	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0	面談にて充分な説明を受けています。	これからも丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0	こちらの質問や要望にも丁寧に対応して頂きながら説明してもらえました。	これからも丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	2	13	分かりません	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1	0	0	毎回送迎時に様子を詳細に教えていただけている	引き渡し時の申し送りやライン、連絡帳などで保護者様との情報共有を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	4	0	3	定期的なモニタリングがあります	定期的なモニタリングや、保護者様のお困りごとがあれば都度、面談などで支援させていただけたらと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	3	0	1	常に寄り添ってくれていると感じます	ご利用者様や保護者様の気持ちや状況に寄り添った支援ができるようこころがけていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	5	12	保護者同士の交流は今のところないです	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	0	3	相談事などすぐ返答をいただけるので安心しています	相談や申し入れについては、職員間で迅速に共有、対応ができるよう努めていきます。
保護者	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	0	0	0		保護者様へ正しく情報伝達できるようにラインや連絡帳を活用していきます。

省 へ の 説 明 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	1	0	1	毎日の活動内容やSNSの更新などいろいろなことを経験、体験しているのを見るので楽しみに見えています	SNSや毎月のごはん通信、ラインなどで活動や月間行事予定を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0	留意されていると思います	個人情報のファイルは鍵付き書庫で管理し、写真掲載に関しては必ずご意向をお伺いするように配慮に努めていきます
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	3	避難訓練等定期的に実施されています	マニュアルの周知・説明に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	9	定期的に避難訓練等行われています	これから毎月プログラムに避難訓練を組み入れ、実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	0	3	安全かつ安心に支援して頂けていると思います	事故なく安全に過ごせるよう努めるとともに、安全計画の周知に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	0	5	転んでしまったときも伝えていただいています	事故が発生したときに迅速に対応ができるよう、職員間での流れの確認を定期的に行っていきたいと思います。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0	ニコニコでおうちを出ていくので安心感はあると思います	事故のないように安全計画やヒヤリハットを活用しながら支援を進めていきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	2	0	1	家でお友達や先生の名前がたくさん出てきて、楽しく通所できているのがうかがえる	毎回楽しく療育に参加できるよう工夫をしていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	0	通い始めてから、保育園でもすごく成長したと先生から言われることもあり、通わせて良かったと思っています。	研修などで研鑽し、より良い支援を行えるように努めていきたいと思っています。

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 上尾教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	人数が多い時は机等でおもちゃで遊ぶゾーンとお勉強、お制作ゾーンで分けている。	今後、ご利用者様が増えてきたときにはあらためて考える必要があると感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	お出かけプログラムのときは基準人員よりも多く配置するなど状況に応じて配置している	法的には適切だが、活動の内容によっては手が足りないときがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	朝の身支度の手順表やおもちゃの写真カードなど視覚支援の工夫をしている	ご利用者様の特性に応じて適宜対応していきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の掃除や床に遊んでいるおもちゃ以外のものを置かないようにしている。	感染症の時期などおもちゃの消毒を念入りにしていきたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	クールダウンが必要なときは先生と一緒に廊下や相談室でクールダウンをするようにしている	職員が一人つく必要があるため、抜けたところをカバーする場面を想定した流れを確認していきたい
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	ミーティングや、朝礼で、支援の申し送りを常に行っている。参加できない職員には、紙やホワイトボードに記録し、見やすい位置に提示している	出勤日数の少ない職員もより多く参画できるよう工夫していきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	保護者のニーズを把握してプログラムなどの業務に反映をしている	今回の評価アンケートが初めてのので、結果を踏まえて改善に努めていきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ミーティングは月に一回、朝礼は毎日行っている	出勤日数の少ない職員の意見もより多く把握できるよう工夫していきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	外部評価は行っていない	今後必要に応じて行っていきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	定期的に研修を受ける機会がある	外部での研修などにより多く受講できるよう工夫していきたい
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	子どもの実態に合わせたプログラムの作成を心がけている	研修などで研鑽し、より良いプログラム作成に反映していきたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	お子様と親御さんの意見、様子を観察し職員同士で話し合っている	細心の聞き取りと分析をこころがけていきたい
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員全体で情報共有をして、日々検討をしている	全職員の意見をより多く取り入れることができるよう工夫していきたい
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	個別支援計画を参考にして個別の狙いを定めてプログラムな取り組んでいる。	共有の時間をより多く取れる工夫をしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	業務日報などを通して子どもの行動観察等を記録している。	こぼんはうすの標準化されたツールを使用しているが、今後より良いツールがあれば追加していきたい
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	年長児には、就学面談（家族支援）を行っている。	地域との連携はまだあまりしていないため、必要に応じて企画していきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	基本的に担当の先生が決めているが、案はいろんな先生が意見を出して決めている	出勤日数の少ない職員からの案も幅広く反映していきたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	子どもの実態に応じてねらいを変えて、プログラムが固定化されないように工夫している	保護者様からのニーズも機会があれば取り入れていきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	集団活動を中心に実施しつつ、子どもの状況や保護者ニーズに応じ個別学習を組み合わせている	研修などで研鑽し、より専門的な支援ができるよう努めていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	支援開始前はもちろん、適宜行われている	朝礼の時間の出勤ではないパートさんにも出勤時に打ち合わせ内容が詳しく伝わるよう工夫していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	共有すべき事項はその日に出勤ではない職員にも伝わるようグループラインなどを活用している	就業時間が短いパートさんは振り返りに参加できないこともあるため、気づいた点を書き残すなどの工夫をしていきたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	業務日報で記録を行い、振り返って見直せるようにしている	多くの職員が記録を活用できるよう工夫していきたい

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	職員間で対象児童のできるようになった事や課題部分を話し合い計画の参考にしている	研修などで研鑽し、より正しく見直しの必要性を判断していけるよう努めていきたい
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	情報共有した上で児発管が参加している	全職員からご利用者様の状況をより詳しく聞き取ることができるよう工夫していきたい
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	保育所や幼稚園に送迎の際、児童の様子を話している	より他機関と連携体制を整えていけるよう努めていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	幼稚園組や年少を想定し、集団活動で待つ経験や役割付与を通し、インクルージョンを意識した支援を行っている	より保育所等と連携体制を整えていけるよう努めていきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	教育センターから問い合わせがあれば、児童の様子を話したり、就学の進路に向けての話をしている	ご利用者様の状況や保護者様の意向に寄り添って小学校等との相互理解を図ってきたい
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	4	担当者会議に参加し、支援内容の相談や助言を受けている	必要に応じて助言等を密に受けられるよう努めていきたい
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	公園や児童館で交流する機会がある	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々の送迎時の申し送りで、その日の活動の様子と発達について気づいた事があれば適宜報告するよう意識している	より共通理解を深めれるよう努めていきたい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	運動会や夏祭りなどのイベントを行なっている	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	支援プログラムに関して、活動のねらいと活動の様子や今後の課題などを説明するよう意識している	どの職員に聞いても説明ができるように努めていきたい
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者と確認しながら作成している	よりご利用者様やご家族の意向が反映できるよう努めていきたい
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	保護者への説明をし、同意を得た上で日々の療育に反映している	より詳しく支援内容をお伝えすることができるよう努めていきたい
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談を受けた際は実際に事業所で取り組んでいる声かけの仕方や視覚支援などを紹介して保護者にお伝えしている	より保護者様が相談しやすい環境を作りに努めていきたい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	今年の運動会では保護者や子どもの兄弟が交流できる場を設定する事ができた	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談や申し入れに対して迅速に対応するよう努めている	子どもから相談の要請があった場合、職員の数によっては迅速に対応できないこともあるため、工夫していきたい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	リタリコブログやインスタを通して活動の内容を毎日発信するよう努めている	より多くの情報を発信できるよう努めていきたい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いについては不要になったものは必ずシュレッダーにかけるなど意識している	定期的に取り扱い方法や取り扱い内容の確認をしていきたい
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	子どもに対しては、短い言葉で伝えることで理解しやすいようにしている。保護者の方に対してはFBの際に、できたことなどプラスのことを多く伝えるようにしている	より円滑な意思の疎通ができるよう努めていく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	教室同士で利用者さんのご家族を招待して運動会や夏祭りを行ったことはある	ご利用者様や保護者様のニーズに応じて企画していきたい
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	研修以外に月に一回防犯、防災訓練を行っている	各種マニュアルの周知に努めていきたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	プログラムで避難訓練を取り入れている	プログラムの前後にBCPIに関する資料を再確認して避難訓練や防犯訓練に対する意識を高めていきたい

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	アセスメントシートを参考にして子どもの状況を把握している	薬が変わったなどの情報更新も含め全職員が把握できるよう努めていきたい
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者からアレルギー検査の結果や対応方法を確認している	情報の更新があった場合に全職員が迅速に把握できるよう努めていきたい
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画や研修内容を踏まえ、ヒヤリハットや注意点を共有し次回支援に反映している	研修や訓練等で研鑽し、より安全に支援ができるよう努めていきたい
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	何かあった場合には管理者に報告、必要であれば保護者にも連絡をしている	安全計画を広く周知していきたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	ヒヤリハットが見つかった場合は適宜記録して再発防止に努めている	全職員で再発防止の検討をできるよう努めていきたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	研修以外でも注意喚起している	研修等で研鑽し、より防止に努めていきたい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	まだ身体拘束の事例がない	身体拘束の必要がある事例に備えて研修等で研鑽に努めていきたい